



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月15日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東
 コード番号 7803 URL https://bushiroad.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 義賢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350
 四半期報告書提出予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年8月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	8,971	8.0	△82	-	△93	-	△154	-
2020年7月期第1四半期	8,306	-	1,203	-	1,224	-	642	-
(注) 包括利益	2021年6月期第1四半期		△142百万円 (-%)		2020年7月期第1四半期		697百万円 (-%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	△9.57	-
2020年7月期第1四半期	40.24	37.87

(注) 当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更し、当社グループの決算期を6月30日に統一しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2021年6月期第1四半期	39,638	13,733	33.0	
2020年7月期	34,518	13,871	38.3	
(参考) 自己資本	2021年6月期第1四半期	13,077百万円	2020年7月期	13,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年6月期	-	-	-	-	-
2021年6月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更しております。このため、経過期間となる2021年6月期は、中間配当の基準日を1月31日、期末配当の基準日を6月30日としております。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年6月30日）

2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	16,388,400株	2020年7月期	16,311,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	180,526株	2020年7月期	180,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	16,144,091株	2020年7月期1Q	15,965,576株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内の新型コロナウイルス感染症の流行が一時的な小康状態となり「withコロナ」の段階に移行したことで、自粛要請の緩和や徐々に経済活動が再開されるなど、急激に悪化した今春の状況からは脱しました。しかしながら、引き続き先行きへの不透明感は続いており予断を許さない状況です。

このような環境の中、当社グループはDX（デジタルトランスフォーメーション）を迅速に取り組み、コロナ禍に於いてもグループ全体が将来的・継続的にビジネスを行うことができる環境を整備し、「IPディベロッパー」戦略のもと、新規IP「D4DJ」への投資を中心としたプロモーション展開・メディアミックス展開を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,971,988千円（前年同四半期比8.0%増）、営業損失82,757千円（前年同四半期の営業利益1,203,259千円）、経常損失93,457千円（前年同四半期の経常利益1,224,075千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失154,620千円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益642,447千円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

1. デジタルIP事業

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルIP事業のうち、TCG（トレーディングカードゲーム）部門は、販売店舗でのカードゲーム大会が全国的に再開して需要が高まったこと、経済活動の再開に合わせて主力TCGである「カードファイト!! ヴァンガード」と「ヴァイスシュヴァルツ」の新商品の発売を集中させたこと、また、東アジアと北米を中心とする海外での販売も好調に推移したことから、売上・利益ともに大きく伸長いたしました。特に、自社IPと他社IPの両方で展開するハイブリッド型TCG「Reバース for you」は、VTuber事務所「ホロライブプロダクション」とコラボした商品が好評を博し、「Reバース for you」を遊ぶ新規ユーザーの獲得や認知度向上に大きく繋がりました。

MOG（モバイルオンラインゲーム）部門は、「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル ALL STARS」（他社IP・他社配信）が1周年のキャンペーンを実施し、10月から放送を開始したTVアニメ「ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会」による盛り上がりも相まって好調に推移いたしました。また、新規アプリゲーム「D4DJ Groovy Mix」（自社IP・自社配信）を10月25日にリリースいたしました。一方、いわゆる巣ごもり需要が一段落したことから、「バンドリ！ ガールズバンドパーティ！」（自社IP・他社配信）をはじめ、既存アプリゲームの売上はやや軟調となりました。

MD（マーチャンダイジング）部門は、コロナ禍のなか販売店舗が在庫量を抑制したことで卸商品の受注数が減少いたしました。また、リアルイベントが再開されたものの来場数が限られていることから売上の大きな改善には及ばず、売上は低調に推移いたしました。このような状況のなか、オリジナルカプセルトイブランド「TAMA-KYU（たまきゅう）」は1周年を迎え、「事務的なはんこ」「自己主張バッジ」など複数のヒット商品を展開し、コロナ禍に於いてもカプセルトイの売上は堅調に推移しております。

メディア部門は、ブシロードムーブの広告代理店事業に於けるグループ外部案件の増加により、売上が大きく伸長いたしました。なお、10月より放送を開始したTVアニメ「アサルトリリィ BOUQUET」及び「D4DJ First Mix」に係る償却費が発生したことに加え、新規IP「D4DJ」のプロモーション展開に係る広報宣伝費が大きく発生いたしました。

これらの結果、売上高6,651,317千円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益3,101千円（前年同四半期比99.5%減）となりました。

2. ライブIP事業

当第1四半期連結累計期間におけるライブIP事業のうち、音楽部門は、音楽ソフトについてはRAISE A SUILEN 1st Album「ERA」がオリコンデイリーアルバムランキング1位を獲得するなど、堅調に推移いたしました。ライブ・舞台についてはリアルイベントを本格的に再開し、音楽ライブ「『BanG Dream! 8th☆LIVE』夏の野外3DAYS」（8月21日～23日開催）、舞台「アサルトリリィ The Fateful Gift」（9月3日～13日開催）、東京ガーデンシアターでの5日間連続の音楽ライブイベント（10月7日～11日）などを開催いたしました。これにより各IPの展開が活発化し、売上も大きく伸びましたが、観客動員の制限が影響し、利益の確保には至りませんでした。また、劇団飛行船ではミュージカル公演の規模縮小や中止が重なり、大幅な減益となりました。

スポーツ部門は、新日本プロレスでは年間で最大級の大会「G1 CLIMAX 30」（9月19日～10月18日、全19回）を含む国内41回の興行の開催及び海外での興行の配信、女子プロレスブランドのスターダムでは横浜武道館におけるプロレスこけら落とし興行「STARDOM YOKOHAMA CINDERELLA 2020」（10月3日）を含む17回の興行を開催し、堅調に売上を伸ばしました。また、音楽部門のライブ・舞台と同様に観客動員に制限があるものの、興行はより低コストで開催できることから、スポーツ部門全体としては黒字化いたしました。

これらの結果、売上高2,320,670千円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント損失91,299千円（前年同四半期のセグメント利益450,756千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は39,638,271千円となり、前連結会計年度末に比べ5,119,920千円増加致しました。これは主に現金及び預金が3,638,315千円、売掛金が773,506千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は25,905,233千円となり、前連結会計年度末に比べ5,258,332千円増加致しました。これは主に長期借入金955,896千円、未払法人税等539,297千円それぞれ減少した一方、転換社債型新株予約権付社債が5,000,000千円、買掛金が1,451,559千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,733,037千円となり、前連結会計年度末に比べ138,411千円減少致しました。これは主に新株予約権（ストック・オプション）の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,025千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が154,620千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、経済活動への影響が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループ全体でのメディアミックスによる収益モデルを確立し、IPづくりのペースを上げ、ライブIP事業におけるオンラインライブの制作、デジタルIP事業における電子コミックの制作及びさらなるEC（オンラインでの販売）、アプリへの注力といったオフラインやアナログのよさを保ちつつDX（Digital transformation：デジタルトランスフォーメーション）をすすめてまいります。

ただし、2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等によりプロレスの興行、音楽ライブ及びイベントの延期や中止、販売店休業等による消費への影響、コンテンツ制作やMDの生産販売スケジュールへの影響が想定され、現時点では合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,895,997	25,534,312
売掛金	4,511,162	5,284,668
商品及び製品	668,798	817,022
仕掛品	1,492,287	1,979,595
貯蔵品	76,097	72,968
その他	1,646,323	1,691,762
貸倒引当金	△31,165	△31,334
流動資産合計	30,259,501	35,348,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,948	453,997
工具、器具及び備品(純額)	106,597	96,094
車両運搬具(純額)	56,625	49,513
土地	352,281	316,281
リース資産(純額)	16,545	24,199
その他(純額)	72,352	62,859
有形固定資産合計	1,072,350	1,002,944
無形固定資産		
ソフトウェア	163,286	118,579
ソフトウェア仮勘定	36,220	—
のれん	206,257	194,789
その他	56,302	167,823
無形固定資産合計	462,066	481,192
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623,600	1,610,603
長期貸付金	252,446	251,496
繰延税金資産	349,665	452,711
その他	523,912	508,955
貸倒引当金	△47,028	△37,627
投資その他の資産合計	2,702,596	2,786,139
固定資産合計	4,237,013	4,270,276
繰延資産		
株式交付費	21,835	18,998
繰延資産合計	21,835	18,998
資産合計	34,518,350	39,638,271

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,435,519	4,887,079
未払金	1,619,033	1,629,144
未払法人税等	689,403	150,105
1年内返済予定の長期借入金	3,757,191	3,891,930
賞与引当金	84,379	154,585
その他	593,907	658,527
流動負債合計	10,179,434	11,371,371
固定負債		
長期借入金	10,198,164	9,242,268
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000,000
役員退職慰労引当金	44,910	48,718
退職給付に係る負債	59,875	62,443
繰延税金負債	96,741	115,702
その他	67,775	64,730
固定負債合計	10,467,466	14,533,862
負債合計	20,646,901	25,905,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,092,823	3,094,848
資本剰余金	3,029,593	3,031,618
利益剰余金	7,342,609	7,187,988
自己株式	△324,679	△324,679
株主資本合計	13,140,347	12,989,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,179	60,490
為替換算調整勘定	28,256	27,211
その他の包括利益累計額合計	82,435	87,702
非支配株主持分	648,665	655,558
純資産合計	13,871,448	13,733,037
負債純資産合計	34,518,350	39,638,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
売上高	8,306,147	8,971,988
売上原価	4,415,487	5,546,874
売上総利益	3,890,660	3,425,114
販売費及び一般管理費	2,687,400	3,507,871
営業利益又は営業損失(△)	1,203,259	△82,757
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,606	5,835
持分法による投資利益	1,722	—
為替差益	11,950	5,764
助成金収入	2,850	19,847
その他	1,092	10,283
営業外収益合計	29,222	41,730
営業外費用		
支払利息	5,246	14,871
持分法による投資損失	—	19,471
株式交付費償却	3,159	2,836
社債発行費	—	14,816
その他	—	435
営業外費用合計	8,405	52,431
経常利益又は経常損失(△)	1,224,075	△93,457
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,609
減損損失	—	34,900
災害損失引当金繰入額	26,102	—
特別損失合計	26,102	37,509
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,197,972	△130,967
法人税等	504,882	16,760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	693,090	△147,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,642	6,892
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	642,447	△154,620

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	693,090	△147,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,087	6,310
為替換算調整勘定	2,851	△1,044
その他の包括利益合計	3,938	5,266
四半期包括利益	697,029	△142,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646,386	△149,354
非支配株主に係る四半期包括利益	50,642	6,892

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2019年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,986,423	2,319,724	8,306,147	—	8,306,147
セグメント間の内部売上高又は 振替高	82,796	89,423	172,220	△172,220	—
計	6,069,220	2,409,148	8,478,368	△172,220	8,306,147
セグメント利益	760,566	450,756	1,211,323	△8,063	1,203,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,063千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年8月1日 至 2020年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,651,317	2,320,670	8,971,988	—	8,971,988
セグメント間の内部売上高又は 振替高	118,604	147,839	266,444	△266,444	—
計	6,769,922	2,468,510	9,238,433	△266,444	8,971,988
セグメント利益又は損失 (△)	3,101	△91,299	△88,198	5,441	△82,757

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額5,441千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失 (△) と調整を行っております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。